

## 新人職員紹介

今年も川越にじの会に新しい職員が入職しましたので紹介します。



さねよし まいこ  
實吉 舞子

4月からにじの家に入職しましたD棟職員の實吉舞子です。

私は、個々の障がい特性を理解し一人ひとりに寄り添い、利用者の方が充実した日々を過ごせるよう支援を行える職員を目指します。

明るく元気に頑張ります！よろしくお願ひいたします。



4月23日に川越市役所のスペースをお借りして、にじの家の授産品である陶器や手芸品を販売しました！！当日は大皿や布製コースターの売れ行きが好調で、多くのお客さんの手に取っていただきました。すでに次回の市役所販売に向けて、作品の作成・準備に取りかかっています。

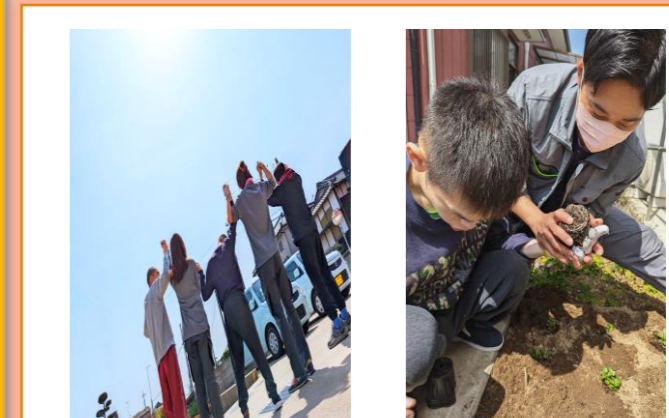
7月23日（火）10：00～市役所にて販売を行う予定です。ご都合が あればお越しください。

にじの家 通所部分場です！

今年度は職員の異動もあり、新体制でのスタートです。内職作業では受注量の増量を目指し、余暇活動も充実させ季節のイベントなども行っていきます。チームで明るく手を取り合いながら今年度も進んでいきます！

通所部職員 青木・天沼

川口・佐藤（駿）



分場日和

## たかはしべんさんの45周年コンサート

### に行ってきました♪



5月19日にウエスタ川越にて“たかはしべんさん45周年コンサート”が行われましたので、利用者の方5名と職員2名で行ってきました！

興味津々にべんさんを見る方や、べんさんの掛け声に合わせて大きな声と一緒に歌うなど、皆さん思い思いに楽しんでいる様子が見られました。帰園途中の車内では利用者の方から「楽しかった、また行きたい」と話がありました。また、このような機会がありましたら、是非参加をしたいと思います。

## 編集後記

2024年度、初めての広報誌「にじいろ日和」が無事に完成しました。今号は新人職員の意気込みや、4月以降に行われたイベントの様子を掲載させていただきました。今後も川越にじの会の活動の様子について、一人でも多くの方にお伝えしていけたらと思います。

メンバー： 日隈 聡 佐藤秀哉 兎川梨穂 大槌 輝 信太明歩 増淵妃佳里

編集人：社会福祉法人 川越にじの会 障害者支援施設 にじの家 理事長 菊池崇臣

〒350-0002 川越市古谷本郷992番地

TEL 049-236-0666 FAX049-236-0665

HP：<https://www.k-nijinokai.com> E-mail：nijik@k-nijinokai.com

2024.6月発行 NO.11



K.NIJINOKAI

# 令和6年度（社福）川越にじの会事業計画

## 1. 法人の基本理念

川越にじの会は、自閉症という重い障害のある人たちも一人の人間として有意義に人生を送ることができるようにという思いから設立されました。障害のあるなしにかかわらず、地域で共に暮らす社会を目指し、一人ひとりの生活の質の向上を図り、その人の可能性や生きがいを見つけて支えていくことを使命としています。

### 【キャッチフレーズ】

“RESPECT” 

[	大切に思う・順守する・受け入れる・理解する・尊敬する・尊重する
	感謝する・思いやる・挨拶

 ]

## 2. 今年度の事業推進方針

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、多くの方々が被災され、今も避難所での生活を余儀なくされておられます。正直なところ、当法人では、これまでの4年間は新型コロナウイルスへの対応にばかり追われており、地震や風水害の脅威への意識が薄れかかっておりました。そういった中で能登半島での大地震の発生でしたので、今一度、気持ちを引き締めて事業運営を考えていかなければならないと思い知ったところです。折しも令和6年度より感染症及び地震や風水害による事業継続計画の策定が義務付けられておりましたので、当法人としても令和5年度内に策定済みではありましたが、万が一の際には実効性のあるものとして活用できるよう職員への周知徹底を図りたいと考えます。

また、後述の実施（計画）事項にも記載させていただいておりますが、令和5年度内に策定予定でありました第3期中長期計画を1年延期し、令和6年度内に策定することで理事会の承認をいただいたところです。計画の検討では新たな事業の創設にかぎらず、既存事業の見直しや職員の雇用、育成といったソフト面についても検討していきたいと考えます。いずれにいたしましても、これからの世の中の流れに注視しながら、社会福祉法人の公益性を果たすべく適切な法人運営に邁進してまいります。

## 3. 実施（計画）事項

- (1) 第3期中長期5か年計画の策定（プロジェクトを組織し策定）
- (2) 新たな通所部分場作業場の改修工事の開始について
- (3) 利用者の意思決定支援の推進について
- (4) 入所施設及び共同生活援助事業の支援の質の確保
- (5) 職員の人材育成
  - ① “RESPECT” と倫理綱領及び職員行動規範を浸透させるために
  - ② 利用者支援をチームで、そして理論的に考える
- (6) 地域に還元できるような取り組みの検討
- (7) 広報と情報公開

## 4. 理事会・評議員会

公益性を担保できる経営組織を目指し、理事会及び評議員会については下記のとおり開催してまいります。

- 理事会 毎会計年度に4か月を超える間隔で2回以上開催
- 評議員会 6月に定時評議員会を開催。その他必要に応じて臨時評議員会を開催

## 令和6年度収支予算書

(社会福祉法人川越にじの会 収支予算書)

(障害者支援施設にじの家 収支予算書)

収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額	科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
経常経費寄付金収入	200,000	人件費	700,000	介護給付費収入	368,900,000	人件費支出	233,421,000
雑収入	360,000	事業費	360,000	特定障害者特定給付費	3,200,000	事業費支出	45,530,000
拠点区分間繰入金収入	1,500,000	事務費	38,000	利用者負担金収入	24,000,000	事務費支出	22,893,000
<b>経常収入計</b>	<b>2,060,000</b>	<b>経常支出計</b>	<b>1,098,000</b>	その他事業収入	1,018,000	利用者等外給食費支出	1,800,000
		(予備費)	962,000	経常経費寄付金収入	1,000,000	拠点区分間繰入金支出	21,000,000
<b>収入合計</b>	<b>2,060,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>2,060,000</b>	雑収入	3,600,000	<b>経常支出計</b>	<b>324,644,000</b>
				経常収入計	401,718,000	固定資産取得支出	86,930,000
				施設整備積立預金取崩収入	20,000,000	(予備費)	10,144,000
				<b>収入合計</b>	<b>421,718,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>421,718,000</b>

(相談支援事業 収支予算書)

(グループホーム 収支予算書)

収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額	科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
サービス利用計画作成費収入	7,000,000	人件費支出	25,750,000	訓練等給付費収入	22,850,000	人件費支出	24,170,000
その他事業収入	6,100,000	事業費支出	1,270,000	特定障害者特定給付費	480,000	事業費支出	3,055,000
雑収入	350,000	事務費支出	1,625,000	特定費用収入	2,200,000	事務費支出	990,000
拠点区分間繰入金収入	16,000,000	<b>経常支出計</b>	<b>28,645,000</b>	その他事業収入	20,000	<b>経常支出計</b>	<b>28,215,000</b>
<b>経常収入計</b>	<b>29,450,000</b>	固定資産取得支出	290,000	拠点区分間繰入金収入	3,500,000	固定資産取得支出	250,000
		(予備費)	515,000	<b>経常収入計</b>	<b>29,050,000</b>	(予備費)	585,000
<b>収入合計</b>	<b>29,450,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>29,450,000</b>	<b>収入合計</b>	<b>29,050,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>29,050,000</b>